

2004年度にいただいたご支援の状況

2004年度は、従来の「芸団協一般サポート会員」に加え、2005年春に誕生した「芸能花伝舎」の開設準備に、さまざまなご支援を多方面からいただきました。

一般サポート会費291万円は、2005年度の芸能福祉事業に142.5万円、芸能文化振興事業に148.5万円とそれぞれ使われる予定です。また芸能花伝舎へのご支援総額5007万円は、建物の耐震・改修工事に使わせていただきました。皆さまのご支援に、改めて感謝申し上げます。



芸能花伝舎正門



実演家のための伝統芸能入門

芸団協事業全般へのご支援

総額 2,910,000 円

一般サポート会員 291口 ———— [団体 20団体 155口
個人 97名 136口

お預かりした会費は当該基金に繰り入れ、次年度(2005年)の事業費に使わせていただきます。(うち、芸能福祉基金 1,425,000円 / 芸能文化振興基金 1,485,000円)

芸能花伝舎へのご支援

総額 50,070,000 円

芸能花伝舎サポート会員 163口 ———— [特別 2団体 100口
団体 5団体 50口
個人 7名 13口

寄付 / 協賛 10件 総額 13,640,000円
助成(施設整備) 1件 総額 34,800,000円

すべて、当該年度の芸能花伝舎事業(今年度は耐震 / 改修工事)に使わせていただきました。

芸能の技能向上のために何が必要か?

プロの芸能実演家、スタッフに必要な条件を聞きました。

実演家は

- 1 稽古、練習、撮影など、創造のための場所の確保・提供
- 2 いろいろな先生のレッスン・稽古を自由に受けられる仕組み
- 3 芸能や映画などの安価な鑑賞機会の提供
- 4 作品を発表、公開できる場の確保・充実

スタッフは

- 1 安価な鑑賞機会の提供
- 2 様々な分野の舞台、映像制作に従事する機会の用意・提供
- 3 プロのための研修の設計・実施
- 4 プロを育てるための分野別の手法の開発

(第7回「芸能実演家・スタッフの活動と生活実態」調査2005年版より)

「芸能花伝舎」は、こうしたニーズにも応えるべく、設置されました。

たとえば、

創造のためのスペース

午前10時から午後10時まで利用できる演劇、音楽、舞踊、演芸などの芸能及び芸術に関わる活動のための11の「創造スペース」を用意しました。

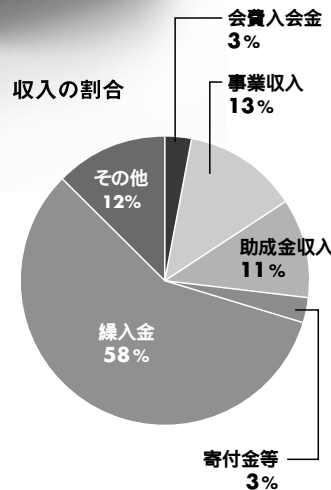
プロのための学校

舞台芸術に携わる人々に共通な課題、基礎知識について、実演家や制作者向けにセミナーを開講しています。

2004年度 一般会計報告

収入

	(単位:千円)
会費入会金	14,420
事業収入	61,976
助成金収入	53,900
寄付金等	13,610
繰入金	280,000
その他	60,835
当期収入合計	484,741

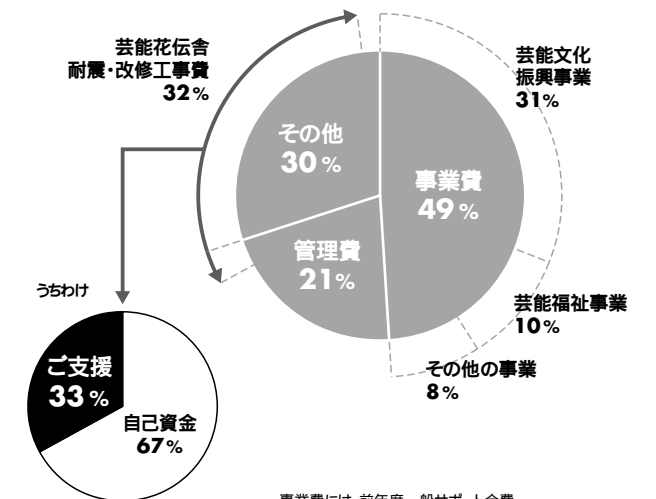


支出

	(単位:千円)
事業費	249,356
芸能文化振興事業	158,139
調査研究費 (実態調査、セミナーカリキュラム開発、文化芸術推進フォーラム等)	41,812
啓発・交流事業費 (セミナー等)	38,046
情報事業費 (和楽器モデル授業、子ども舞台芸術ガイド、子どもと舞台芸術出会いのフォーラム等)	78,281
芸能福祉事業 (芸能人年金制度運営費ほか)	52,162
その他の事業	39,055
広報	20,617
顕彰	18,438
管理費	108,859
その他	148,729
当期支出合計	506,944

芸能花伝舎耐震 / 改修工事は152,769,435円 (管理費 / その他支出の項目に計上)

支出の割合



事業費には、前年度一般サポート会費 (芸能文化振興事業:113.5万円、芸能福祉事業:52.5万円) を使わせていただきました